



地区スローガン：「Grow Rotary：自分もクラブも成長しよう」

クラブ会長方針：～ 感謝50周年 ～ 歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦



## 国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
会長 今野 文明 幹事 北村 悠介  
例会場 京成ホテル ミラマーレ  
〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1  
TEL 043-222-2111  
例会日 毎週火曜日 12:30～  
事務局 〒260-0001 千葉市中央区都町1-2-3  
TEL 090-3484-2790  
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

### ■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

先週の5月30日には、親睦旅行並びにパートナー例会を開催致しました。担当された親睦活動委員会の皆様、大変お疲れ様でした。

いよいよ6月に入り本年度もあと1ヶ月。例会も残すところ本日を入れてあと4回です。

海の向こうから毎日の様に「夢の続き」を見せてくれている「大谷翔平選手」が、野球は勿論のこと野球以外でも何故野球が国技のアメリカで認められ尊敬されているのか？それは、アメリカに渡り8年掛けて少しずつ築き上げて来たものだと思います。通常、今までのアメリカメジャーリーガーのスーパースターは、凄い家に住み、凄い車に乗り、シェフを呼び豪華な食事でパーティーをする近寄りたいたい存在であり子供達も遠くから見て憧れているのがアメリカのスーパースターでした。このスーパースター達も子供達のために、そのような存在にならなければいけないと思っていましたが、大谷選手を見ていて私達の考えは間違っていたと言っています。

その大谷選手は礼儀正しく、グラウンドのゴミを拾い自分の事は全て自分で行う。今では大谷選手に習い、多くのグラウンドとベンチの中からゴミが無くなったそうです。大谷選手は野球少年の頃、グラウンドのゴミを一つ拾うと一つ良い事が有ると教わり、世界一の選手になった今でも実践しているということです。

大谷選手のおもしろい「逸話」は、何から話して良いか分からないほど、沢山あります。その一つ、歴代のスーパースター・ヤンキースのデレクジーター、アレックスロドリゲスとレッドソックスのデビットオルティーズ、子供達の憧れで近寄れない人達が口を揃えて言った事が、大谷ならお金を出すのは簡単だろ、しかし忙しいシーズンオフに子供達の為にこの時間を作った事に「驚いて敬意を払った」という出来事がありました。それは、シーズンオフのある午後、ロサンゼルス郊外にある「日本人児童養護施設」5歳から14歳、18人の子供達が暮らす小さな施設に大谷選手が顔を出したそうです。同行したスタッフが話せる範囲で話したことです。突然の訪問に子供達は、泣き出しました。大谷選手は兄の様に優しく子供達一人一人に好きな事を聞き、楽しい時間を過ごしました。心を開いたひとりの少年が「僕は両親を知らない、どこに居るの」と大谷選手に尋ねたそうです。その後、大きなボストンバッグ二つ開け、中から野球道具を出し「野球をしよう」と外へ出ました。野球の出来ない女の子には、走り方を教えたり、縄跳びをしました。あたりが暗くなった頃、大谷翔平は「みんな元気でいてください、また会いに来ます」と帰ったそうです。後日、大谷選手から沢山の追加の野球道具が届きました。その中に、全て「匿名」にしてくださいという手紙と共に、子供達の為に使ってくださいと「5万ドル」の小切手が入っていたそうです。その後、雨漏れしている屋根を修繕し、子供達の部屋にエアコンを設置、勉強備品の充実、そして庭に遊具を増やす事が出来ました。その噂は、あっという間に広がり、大谷翔平が来た施設ということで地域の人達の手伝いや協力が有り貧しいアジアの施設から大谷翔平が訪問した素晴らしい施設へ変貌したそうです。

大谷選手はフィールドの中でも外でもスーパースターなんだと強く感じ、また今までのアメリカのスーパースター像を根本から覆した伝説になる人物だなと感じました。しかし、これはあくまでも大谷翔平にとってはただのスタート、はじまりだったようです。以前、大谷選手の事を張本勲がサンデーモーニングで、野球選手がこんなにコマーシャルに出て、チャラチャラして「カッツ」そのうち成績も落ちると言っていました。後で陳謝したそうです。それはまったく違い、大谷選手ははっきりと公表していませんが、多くのCMのギャラ「約200億円」は財団を作り、世界中の貧困で困っている子供達の為に「支援」したいと考えているようです。

その他にも大谷翔平選手のびっくりするような「逸話」は、沢山あります。世界の野球界でこんな選手は二度と出ないと言われていますが、人間的にも二度と出ない、伝説的な人物だと思っています。これからも彼の「一挙手一投足」からまったく目が離せなくなりそうです。

### ■ 四つのテスト / 小松喜久子 会員

「言行はこれに照らしてから」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなの為になるかどうか



## ■ お客様

・なし

## ■ 入会式

・本間隆行会員

このたびはご推薦いただきありがとうございます。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## ■ 6月誕生祝い

・川島治代 川崎美嘉子 佐藤善一  
菅野友博 依田和孝各会員

・川島治代会員挨拶

皆様、お誕生日のお祝いをありがとうございます。入会した30年前は女性に対する風当たりが強く、何度も挫折そうになりましたが、皆様の温かさに支えられて94歳を迎えることができました。この場所で多くのことを学び、私自身も人間として少し丸くなれたように感じています。今日という日を迎えられるのは、ひとえに皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。」



## ■ 幹事報告

・定例理事会報告

議案は全て承認を得ました。議事録でご確認ください。

・明治安田生命より後任の方が入会される予定です。

・花嶋実会員が退会となります。本橋和也会員は事業多忙で例会に出席できないということで地元の茂原RCへ移籍となります。飯高会員は休会となります。

・50周年記念の会計収支報告の整理が終わり、無事に承認されました。奉仕活動準備金を取り崩しております。

## ■ 委員会報告

・なし

## ■ 一年を顧みて クラブ広報・ロータリー情報委員長 川崎美嘉子

クラブ広報・ロータリー情報委員長を務めさせていただきました川崎です。委員会の皆様をはじめ、会長、幹事、事務局・森川さん、週報編集局の藤崎会員には、たくさんのご指導をいただき週報を発信することができました。また、毎回の例会の様子を鮮明な写真で記録してくださった佐藤カメランにも改めて感謝いたします。写真のチカラによって、週報がより暖かいものになりました。

また、海寶プログラム委員長のご指導のもと、ロータリーの友の記事作成にも携わらせていただき、青少年育成を柱にした記念事業についても考え学ばせていただく機会をいただきました。一年間、本当にありがとうございました。



## ■ 一年を顧みて 国際奉仕委員長 足立 啓輔

皆様、今年度一年間、国際奉仕委員会の活動にご理解と多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。当委員会の年度末終了報告をさせていただきます。

## 1. 委員メンバーのご紹介

まず、今年度行動を共にしていただきました、委員会メンバーをご報告いたします。

・委員長：足立 啓輔

・副委員長：宮川 忠士、遠藤 平、須藤 郁雄

・兼任委員：川島 治代、桜井 隆宏、飯高 喜代志、野口 アキ子、前野 拓郎

以上の強力な布陣で、本年度の会長方針である「～感謝50周年～歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦」を念頭に置き、





各事業に邁進してまいりました。

## 2. 各事業の実施報告

計画書に基づき進めてまいりました主要事業の実施結果をご報告いたします。

・子弟交流事業（受入および送出し）：本年度は、子弟、受入れ家庭の確保が困難ということで、高雄とも協議をし、休止となっております。

・世界社会奉仕（WCS）事業：青少年育英基金へ1000ドルを寄付しました。

・アジアふれあい基金の管理：第3例会前に寄付金の受付を行い、基金の適正な管理と推進に努めました。

## 3. 50周年記念関連行事の企画

本年度は創立50周年の節目であり、姉妹三クラブ輪番受入とタイアップした記念行事の企画・運営に特に注力いたしました。計画書に明記されていない部分として、50周年記念式典前日に開催したウェルカムパーティー、および式典当日における小旅行を当委員会にて企画・実施いたしました。姉妹クラブからの来訪者の皆様を温かくお迎えし、非常に密度の高い、心に残る親睦と文化交流の時間を共有することができました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

## 4. 書画交流事業について、および次年度への申し送り

台湾・韓国・日本を巡る伝統的な書画交流事業につきましても、今年度滞りなく検見川小学校にて実施をいたしまして。なお、次年度の書画交流につきましても「生浜小学校」にて対応をいただけることが正式に決定いたしました。地域と学校、そして国際交流が結びつく素晴らしい形での継続が可能となりましたので、次年度の委員会へしっかりとこのバトンを引き継ぎたいと存じます。

以上をもちまして、国際奉仕委員会の2025-26年度終了報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## ■ 一年を顧みて プログラム委員長 海寶勘一

会長幹事及び渡邊 CL ファシリテーター、白井クラブ奉仕委員長のご指導を頂き、プログラム委員会各位のご尽力をもって、年間例会数を40回の中でプログラムを企画することができました。今年度はクラブをあげて創立50周年記念事業式典が優先され、創立記念に関するクラブ協議会及びフォーラム例会が多くなりました。8月26日には大塚初代会長を偲ぶ例会が大日寺に於いて開催され、3月14日には第2302回創立記念例会が京成ホテルで開催出来ましたこと、改めて会員各位のご尽力に感謝申し上げます。時田ガバナーや始平堂 G 補佐を迎えた公式例会、及び第3グループ事業と地区大会についても振替移動例会にできました。外部卓話者も神谷市長・林・榮生師匠・宋米山記念学友・固本の各皆様からご協力頂き、それぞれ専門的な卓話を頂きました。新会員卓話も限られた時間でしたが、田中・石倉・都築・齋藤の新会員皆様からの発表を頂きました。例会を通して会員利得になる人生修業の場とする、学びと各委員会主催プログラム構築もできましたこと、プログラム委員会としてお礼を申し上げます。今後のクラブ課題ですが、日ごろから会員卓話が気軽にできる環境構築を心得、フォーラムとしての対話例会や、RI 指定月間関連を柱とした地区委員や他クラブとの柔軟なコラボを目指すこと等の工夫も感じます。会員同士が切磋琢磨しあい総力ある成長を目指し、価値ある例会プログラムを会員皆の力で構築させていきたいものです。



## ■ ニコニコ BOX

- ・川島…お誕生日祝いをして頂きありがとうございます。皆さんにもうしばらくお付き合いさせて頂きたいと思います。どうぞよろしく。
- ・今野…先週の親睦旅行並びにパートナー例会大変お疲れ様でした。親睦活動委員会の皆様ありがとうございました。
- ・花光…親睦活動委員会の皆様、親睦旅行ご苦労様でした。
- ・遠藤あけみ…5日は二十四節気の清明だそうです。  
すべてのものが生き生きとして、清らかに見えるそうです!清らかに生きよう♡
- ・桜井…みなさん親睦旅行おつかれ様でした。
- ・小松…親睦とパートナー例会とても楽しめました。ミラコスタでのディナーサプライズもありしゃれていました。ありがとうございました。
- ・川崎…女性なので年齢はナイショですが今年も感謝してがんばります。祝って頂きありがとうございます。
- ・佐藤…今月9日に65才になります。引き続きよろしくお願い致します。

| 千葉西ロータリークラブ | 総数  | 本日出席 | 前々回の修正 | メンバー | 本日の出席率  | ニコニコBOX | 本日の合計    | 次週プログラム  |
|-------------|-----|------|--------|------|---------|---------|----------|----------|
|             | 46名 | 31名  |        | -名   | 73.81%  |         | 20,000円  | 次週プログラム  |
| 対象者         |     | 欠席   |        | 欠席   | 前々回の出席率 |         | 本年度累計    | 6月9日(火)  |
|             | 42名 | 11名  | 33名    |      | 82.50%  |         | 753,500円 | クラブフォーラム |

## ■ 次週プログラム

6月9日(火)  
クラブフォーラム  
「委員会活動の一年を振り返って」  
12:30点鐘 京成ホテル ミラマール

クラブ広報・ロータリー情報委員会【委員長】川崎美嘉子【副委員長】\*中村武弘・佐藤善一【委員】\*荏司芳樹・\*高橋健一郎・\*足立啓輔・\*坂本政和